

平成29年度 岸和田市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成29年度岸和田市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

| | |
|-----------------|------------------------|
| (1) 年間下水管敷設延長 | 3.7 km |
| (2) 年間有収水量 | 19,965 千m ³ |
| (3) 主要な建設改良事業 | |
| ① 管渠整備事業 | 812,260 千円 |
| ② ポンプ場及び処理場整備事業 | 355,096 千円 |
| ③ 流域下水道建設負担金 | 77,366 千円 |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

| | |
|-----------|--------------|
| 第1款 事業収益 | 7,776,436 千円 |
| 第1項 営業収益 | 5,144,472 千円 |
| 第2項 営業外収益 | 2,631,944 千円 |
| 第3項 特別利益 | 20 千円 |

支 出

| | |
|-----------|--------------|
| 第1款 事業費用 | 7,157,224 千円 |
| 第1項 営業費用 | 5,842,890 千円 |
| 第2項 営業外費用 | 1,306,634 千円 |
| 第3項 特別損失 | 5,700 千円 |
| 第4項 予備費 | 2,000 千円 |

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3,396,281千円は当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものとする。)

収 入

| | |
|--------------|--------------|
| 第1款 資本的収入 | 3,309,267 千円 |
| 第1項 企業債 | 2,568,100 千円 |
| 第2項 固定資産売却代金 | 10 千円 |
| 第3項 分担金及び負担金 | 20,714 千円 |
| 第4項 補助金 | 477,407 千円 |
| 第5項 他会計繰入金 | 243,036 千円 |

支 出

| | |
|------------|--------------|
| 第1款 資本的支出 | 6,705,548 千円 |
| 第1項 建設改良費 | 1,254,601 千円 |
| 第2項 企業債償還金 | 5,450,947 千円 |

(継続費)

第5条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

| 款 | 項 | 事業名 | 総額 | 年度 | 年割額 |
|---------|---------|-------------------------|---------------|--------|--------------|
| 1 資本的支出 | 1 建設改良費 | 下野町下水ポンプ場 汚水ポンプ他更新工事 | 120,000 千円 | 平成29年度 | 48,000 千円 |
| | | | | 平成30年度 | 72,000 千円 |

(債務負担行為)

第6条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

| 事項 | 期間 | 限度額 |
|-------------------------------|------------------|-------------|
| 汚水処理施設及び ポンプ場等維持 管理業務委託 | 平成29年度から平成34年度まで | 1,190,000千円 |

(企業債)

第7条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

| 起債の目的 | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 | | | | |
|-------------|---------------|---|---|-----------------------|------|------|---------------------------------------|------------------------------|
| | | | | 借入先 | 償還期限 | 据置期間 | 償還方法 | その他 |
| 公共下水道業 | 354,300 千円 | 普通貸借又は証券発行 ただし事業の進捗状況 により起債額の全部又は一部を起債前借することができる。 | %以内 10 (ただし、利率見直し方式で 借り入れる資金について、 利率の見直しを行った後 においては、当該見直し後の 利率) | 政府 機構 銀行 その他 | 年以内 | 年以内 | 年賦、半年賦、元金均 等若しくは元利均等償還 又は満期一括償還 | 必要に応じて繰上償還又は 借り換えることができる。 |
| 流域下水道業 | 76,600 | | | | 40 | 5 | | |
| 資本費 平準化債 | 1,542,000 | | | | 20 | 3 | | |

(一時借入金)

第8条 一時借入金の限度額は、5,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第9条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用、特別損失

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第10条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 397,669千円

(2) 交際費 50千円

(他会計からの補助金)

第11条 一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、38,216千円である。

平成29年2月24日提出

岸和田市長 信貴 芳則